

# 令和3年度シラバス（教科・科目：芸術・音楽Ⅰ〔新課程〕）

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制午前・夜間	単位数	必履修・選択
午前	2	必履修

教科書	学習書・他教材
『高校音楽Ⅰ Music View（教育出版）』	なし

学習目標
歌唱、器楽などの表現活動と鑑賞や創作の活動を通して、音楽に対する基礎的な能力を身につけ、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽文化についての理解を深める。

学習計画		
学習項目	学習内容	評価方法
表現 (歌唱・器楽) (20)	＜歌唱＞ポップス曲3つと英語の曲のそれぞれ歌詞の意味を理解し、鑑賞も関連させながら曲にあった表現を工夫する。 ＜器楽＞ギターの基礎練習をし、音階と簡単なメロディを演奏できるようにする。	実技テスト ＜歌唱＞ポップスの歌1曲、英語の歌1曲 ＜器楽＞ギター1曲（音階・簡易メロディ含）
鑑賞(8)	＜鑑賞＞表現活動と連動しながら様々な鑑賞を通して表現につなげる。ミュージカルの鑑賞を通して、劇と音楽の融合について理解する。	授業で配布したプリントの提出。
創作(4)	＜創作＞言葉の持つ抑揚に合わせてメロディをつくる。	(楽典・創作を表現活動と連動させる)
楽典(3) <35>	＜楽典＞音名・音符・休符を読み・書きする。	
表現 (歌唱・器楽) (25)	＜歌唱＞「オーソレミオ」「野ばら」を日本語・母国語で歌い、歌詞の意味を調べて曲にあった表現を工夫する。「校歌」を2部合唱で、歌詞の意味や背景を調べ、曲に合った表現を工夫する。	実技テスト ＜歌唱＞伊語・独語の歌を1曲 ＜器楽＞ギター1曲（コード伴奏）、ギター合奏1曲
鑑賞(6)	＜器楽＞ギターのコードネームを使った奏法を学び、合奏活動を行う。合奏を通して楽器の奏法技術の向上とアンサンブルのために必要な表現を工夫する。	＜楽典＞課題曲1曲
楽典(4)	＜鑑賞＞表現活動と連動しながら、日本の伝統音楽の歴史、音楽史、作曲家の生涯を学び、表現活動につなげる。	授業で配布したプリントの提出（楽典・創作を表現活動と連動させる）
<35>	＜楽典＞表現活動と合わせながら楽譜の読み方を理解する。	

計70時間（50分授業）

評価規準と評価方法			
評価は、次の4観点から行う。			
音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈し価値を考えて、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
実技テストやプリント学習（提出必須）の取り組み方、授業態度を総合的に評価する。			

授業の進め方、課題・提出物など
教科書を中心に表現、鑑賞、創作活動をする。 宿題はないが、授業中に行うプリント学習をしっかりと取り組み、必ず提出すること。

担当者からのメッセージ
音楽Ⅰでは歌唱、器楽、鑑賞、創作など幅広く学びます。苦手な分野があっても積極的に取り組んで下さい。

